



美しい音色が響き渡る

オーケストラが奏でる「愛」 飯高檀林コンサート

飯高檀林跡で10月13日、アントニン・キューネル氏を指揮にベルカント室内管弦楽団の皆さんを迎え、第18回飯高檀林コンサートが開催されました。愛をテーマに声楽やリコーダー、トランペットなどがさまざまな音色で愛を表現し、独特の雰囲気包まれた檀林の森との相乗効果で約1,000人の聴衆を魅了しました。

ゴールデンボーイズが一日館長 ちいちい茶屋をPR

「千葉県に住みます芸人」として活動しているお笑いコンビ「ゴールデンボーイズ」が9月27日、地井武男ふれあい記念館（ちいちい茶屋）の一日館長を務めました。同館運営委員会から任命証を受け取った米田裕勝さんとうっほ菅原さんは、一日館長のたすきを掛けて道行く人たちに入館を呼びかけ。2人は、同館近くでお笑いライブも行い、応援に駆け付けたS☆cuteと共に来場者を楽しませました。



入館を呼びかけるゴールデンボーイズ



搬送法を受講する参加者(八日市場小)

いざという時に備えて 市総合防災訓練

千葉県東方沖を震源とする震度6弱の地震を想定した市総合防災訓練が9月29日に開催され、市内各地の会場で自主防災組織を中心に1,268人が参加しました。今回の訓練は市と自主防災組織が一体となった防災対策の推進に重点を置いて実施され、自主防災組織による避難所の開設や初期消火訓練、応急救護訓練などが行われ、参加者は真剣な表情で訓練に取り組んでいました。

チーバくんを田んぼアート そうさの米研究会が稲刈り体験

野田地区今泉のふれあい公園北側の田んぼで9月22日、そうさの米研究会が主催する第3回消費者交流会・稲刈り体験に消費者約100人が参加しました。

今年5月に千葉県マスコットキャラクターチーバくんを田んぼアートとして、地域ブランド米「匠瑳の舞」と古代米を使用して描きました。会場に集まった人は開会式の後、田んぼアートをバックに記念写真を撮り、それぞれ鎌を手に田んぼに入り、手刈りによる稲刈りを体験しました。



田んぼアートのチーバくん記念写真

地域の伝統行事

水神社秋祭り



椿海地区の水神社で10月12日、13日と秋祭りが行われました。13日の御神体還御では、天狗や侍、巫女姿の子どもを先頭に五穀豊穰を祝い、地区内を神輿が渡御しました。

松山神社秋の大祭



匝瑳地区の松山神社で10月13日、秋の大祭が行われました。同神社の神輿の下をくるとご利益があると伝えられており、ご利益にあやかろうと多くの人が境内に列を作りました。

十二所神社御神幸祭



栄地区の十二所神社で10月13日、御神幸祭が行われました。五穀豊穰・商売繁盛を祈願し、神輿は地区内を威勢よく渡御しました。

六社大神御神幸祭



野田地区の六社大神で10月13日、御神幸祭が行われました。神社を出た神輿は野手浜で神事を行い、五穀豊穰、豊漁、商売繁盛を祈願しました。

交通事故ゼロを目指して

交通安全フェスタinふれあいセンター

市民ふれあいセンターで9月22日、「交通安全フェスタinふれあいセンター」が開催されました。

秋の全国交通安全運動の一環として行われたもので、各種の展示や体験ブースが設置されたほか、ハリキリ戦隊ソーサマンショーや千葉県警察音楽隊の演奏が行われ、多くの人にぎわいました。また、関係団体が集まったの出動式では、匝瑳高校2年の鎌形未来さんと同1年の望月幸塩さんが一日警察官に任命され、交差点での啓発活動などを実施しました。



宣誓を読み上げる鎌形さん(右)と望月さん

新たな縁の構築に向けて

安心生活創造事業セミナー

市民ふれあいセンターで9月29日、社会運動家で反貧困ネットワーク事務局長の湯浅誠氏を講師に安心生活創造事業セミナーが開催されました。同事業は、「悲惨な孤立死や虐待等を1例も発生させない地域づくり」を目標とした取り組みで、本市では平成24年10月からスタート。参加者たちは、血縁・地縁・社会縁の希薄化が大きな課題となる中、新たな縁の構築に向けたヒントを得ようと湯浅氏の講演を熱心に聞いていました。



熱弁を振るう湯浅氏

英霊を慰め世界平和を願う

匝瑳市戦没者追悼式

市民ふれあいセンターで10月9日、匝瑳市戦没者追悼式が挙行されました。

式典には、来賓や遺族ら約250人が参列。国歌斉唱、黙とうに次いで、太田市長が「平和の大切さを次の世代に語り継ぎ、世界平和の構築に尽力する」と式辞を述べ、来賓による追悼のことがば捧げられた後、戦没者1,487御柱の英霊に対して献花が行われ、戦没者の冥福と平和を祈りました。



献花を行う参列者